

有限会社田園

※2017年3月現在

代表者名	古御門 侑	資本金	3百万円
設立年	2004年2月9日	売上高	179百万円(2015年8月期)
事業内容	生産(米、野菜)、 消費者直売、加工・製造	経営規模	田30ha、畑8ha、作業受託 (水稻苗)→生産施設7,000㎡、 加工施設200㎡
従事者数	19人(うち女性16人。女性内訳:役員1人、管理職1人、一般職1人、 常勤パート13人)		
女性活躍支援	<p>[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援]</p> <p>産前産後休業育児・介護休業中の能力向上、育児休業代替要員を確保、 育児休業後の継続就業支援</p> <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> <p>施設設備関係(休憩室・屋内・野外トイレの設置)</p>		



経営概況

(有)田園は、三重県松阪市に位置する。当初は、代表の古御門侑(ゆう)氏の夫・正祐氏が生産するコメの販売を目的とし、2004年に法人が設立された。

その後、農産物検査員の研修を修了し、登録検査機関となってコメの販売を充実させるだけでなく、作業受託や野菜の契約栽培、稲の育苗、施設野菜の生産にも取り組むようになり、生産した野菜を使った餃子の製造やレストランでの餃子の提供も予約制で運営している。



現在の生産規模は、露地では、キャベツ3.5ha、カリフラワー3.5ha、ゴマ2ha、ナス50a等合わせて約10haを、施設7,000㎡では、トマトやサヤインゲン等を生産しており、多くは市場を通じた契約生産を行い、周年雇用ができるような生産計画を立てている。

役員は、代表取締役の古御門侑氏と、正祐氏(米生産部門の法人「古御門ライス」を2016年に設立)の2名である。正社員は、生産部門の管理職として女性1名、一般職では生産部門に男性1名、販売部門に男性1名、経理担当の女性が1名いる。常勤パートには女性13名がおり、その他、9時~13時までの短時間勤務に登録している女性パートが13名いる。

2015年の売上は1億7,933万円で、そのうち古御門ライスのコメの販売によるものが6割を占めているが、野菜生産や加工販売で残り4割の売上を得ている。

1. 経営者の意識

侑氏は中国の北京出身で、23歳の時に日本に

留学してそれから日本に滞在し、34歳の時に正祐氏と結婚して松阪市にやってきた。現在52歳で、子供4名を育てながら会社の経営を行っている。

「未来の子供たちに、安全な食べ物を作れる農地を守るために安心・安全な農産物の生産、加工販売、次世代農業の育成、食育などを通じて、農業の未来を創造します」という経営理念のもと、これまでも女性社員による6次産業化（餃子づくり）や、新卒社員の採用、女性の生産部門の施設長への登用など、女性の能力が発揮できるように取組んでいる。

しかし事業が大きくなるにつれ、恒常的な人不足が課題となった。その一方で、地域の子育て世代の母親が働く意欲はあるものの、育児と両立できる仕事がない現状を祐氏は問題だと思い、何とか彼女たちの能力を活かせないか考えたという。

そういった問題意識から、2015年に9時～13時という時間帯での、子育て世代の母親の雇用を始めた。

彼女たちは食に関しても意識が高く、(有)田園の安全安心な食の提供といった理念にも共感してもらえ、一緒に労働環境や雇用条件について話し合いをすすめることで、個々の環境に合わせて多様な働きができる体制を作り、結婚、妊娠、育児をしながら働ける会社にしていきたいと考えている。

2. 女性従業員のキャリアアップと 育児・出産

女性社員の働きやすい環境づくりとして出産、育児にかかる休暇制度を整え、子連れ出勤や就業時間についてもフレキシブルに対応している。

現在も、二人目の出産を終えた女性の生産部門の施設長が、子供の面倒を見ながら仕事をしたいと希望しているため、仕事に復帰してもらっ

ている。

また子育て世代の母親を雇い始めた際に「来られるときに、来られる時間だけ。3～5日の自由な農業体験」というキャッチフレーズをつけて呼びかけ、現在の13名にまで人が集まった。農作業をしたことがない体験者が初めてでも作業がしやすいように工程ごとに作業マニュアルを作成している。その結果、人手不足が解消され、活気ある仕事場となった。

また社会保険労務士による労働環境の勉強会や、定期ミーティングによる情報共有等、より働きやすい職場改善を行っているほか、活躍が給与に反映される人事評価制度を取り入れるなど、キャリアアップも図っている。

3. 女性が働きやすい環境整備

子供の休み期間中に子供を遊ばせられるような冷暖房完備の休憩室を、加工所・レストランの2階に整備しており、今後、圃場作業後に使えるシャワー室の整備も行いたいと考えている。

審査委員の声

自家製野菜の古御門ギョーザは、中国の北京出身で、4人の男の子を育てた肝っ玉母さん古御門侑（ゆう）さんならではの女性視点の食文化と味にこだわった6次産業の産物。食に関心の高い子育て世代の母親を支援し、「近隣の育児女性限定」でミニトマトの枝整理・収穫の農業体験参加者を募集し、一人ひとりの個性を活かした13名の育児期女性が楽しく働く職場をつくりあげた。

商品も職場も、女性活躍のアイディアの良さと前向きさが光る。